



YELL

那須教育事務所
ふれあい学習課
〒324-0041
大田原市本町2-2828-4
Tel:0287(23)2177(代)



次年度の学校と地域の連携・協働に向けて

生涯学習・地域連携について、本年度の取組をふりかえり、次年度の計画が作成されているかと思えます。作成した計画を基に4月から学校と地域の連携活動がスタートできるよう準備しておきましょう。

※以下の取組を確認して☑(チェック)してみましょう。

推進計画や年間活動計画の点検と見直し

- 活動の効果や課題等について、児童生徒、教員、保護者、地域住民等の様々な視点で評価
- PDCAサイクルに基づき計画が改善され、真に必要な活動であるか確認



校内体制の整備

- 地域コーディネーターの協力を得ながら、地域資源・人材一覧の確認と修正
- 地域学校協働活動の様子を校内掲示し、児童生徒や教員、保護者等の連携・協働の参画に対する理解を促進するための情報発信
- ボランティア室などを設けている学校では、利用しやすいように整理整頓



年間活動計画の確認

- 学校と地域の連携・協働の具体策が、各学年、各教科等において実行可能なものになっているか確認
- いつ（月ごとや学期ごと）、どのような場面で（行事や教科等）、どのような支援（具体的な活動の支援）をするか確認



学校と地域の連携・協働を進めるために、地域連携教員等がすべてを担うことなく、担当者を中心に学校全体で進めましょう。

持続可能な取組にするためには、学校全体で組織的に対応する体制を整えていくことが大切です。

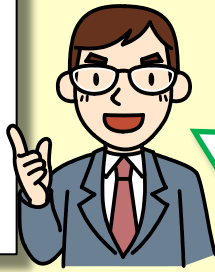
【「学校と地域の連携・協働推進ハンドブック」
栃木県教育委員会 令和5年3月 P.12～13参照】

令和5年度那須地区教育の概要の活用



地域連携教員として、教育計画の生涯学習計画を基に、学校と地域の連携・協働を見直しました。でも、今ひとつイメージしにくいんです。

生涯学習って学校教育の中でどのように位置づけられるのかな？



那須地区教育の概要を活用しましょう。教育の概要では、学校経営や学習指導、児童・生徒指導等の各学校における教育活動の評価や諸計画の策定する際の参考となります。「第2部 ふれあい学習」では、生涯学習や学校と地域の連携・協働について示されているので確認するとよいでしょう。

第2部 ふれあい学習

令和5年度那須地区教育の概要 第2部 ふれあい学習

<https://www.pref.tochigi.lg.jp/m56/system/desaki/desaki/documents/1r5shougaigakushuu.pdf>

第1章 生涯学習

1 生涯学習の推進

(1) 生涯学習とは

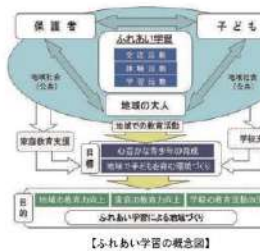
生涯学習とは、生活の向上、職業上の能力の向上や自己の実現を目指し、一人一人が自発的意欲に基づいて行うことを基本とするもので、必要に応じ、可能な限り自己に適した手段や方法を自ら選びながら、生涯を通じて行う学習です。生涯学習には、学校や社会の中で段階的、組織的な学習活動として行われるものだけでなく、人々のスポーツ活動、文化活動、趣味、レクリエーション活動、ボランティア活動や社会貢献活動等の中で行われる、あらゆる学習活動が含まれます。また、教育基本法第3条においては、生涯学習の理念として「国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない」と規定されています。

生涯学習社会の実現を目指すためには、第一に、人々が自ら学習しようとする意欲を高め、自ら学ぶことができる力を養成していく必要があります。第二に、社会の様々な教育的機能を相互の関連性を考慮しつつ総合的に整備し、学習の機会や学習の成果を生かす場となる実態を築く必要があります。生涯学習の推進は市区町村の責務としてありますが、生涯学習社会の実現に向けては、学校教育、社会教育、家庭教育の3つが連携しながら取り組んでいくことが重要です。



は、子供同士、大人同士、子供と大人、そして幅広い年代の人々との交流活動活動を行います。ふれあい学習は、これらの活動を通して、学校・家庭・地域が、子供の「生きる力」を育みながら、家庭と地域の教育力の向上を目指すべきことを目的とした取組です。

「ふれあい学習」の現状の把握や評価的な推進方策を企画し、各課、関係機関等へ情報・資料を、取組の充実を図る。福祉や企業・団体等のネットワークを支援し、各地域で実施「ふれあい学習」の取組に、より効果を生かす。取組の中で、ともに大人も育む。教育活動に携わる関係者の資質の向上を図るための研修を充実させる。



・協働の推進
教育課程の実現に向けて、「地域とともにある学校」づくり及び、地域学校を支える地域の組織体制整備を支援する。人的な調整を担う地域コーディネーターや地域学校協働活動推進員の養成。活動の充実につながる情報提供等の支援を行う。異・協働した活動を効果的・効率的に推進するため、地域連携教員をはじめとした研修及び情報の提供を行う。
プログラム等を活用した家庭教育に関する学習の機会を市町と連携して生涯学習支援プログラム推進者研修を実施し、指導者の養成を図る。学際的な学習活動や相談活動を行う家庭教育アドバイザーを養成指導者に対する支援を行う。



(3) 特色ある取組

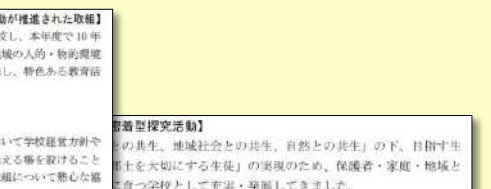
ア 大田原市立金丸小学校【地域の力を生かした教育活動】
本校は、金田南中学校区に属し、自然豊かな環境と農村地帯にある小規模校です。地域の教育資源にも恵まれ、地域に根ざした学校として充実した教育活動が展開されています。ここでは、児童の豊かな心を育むために行われている地域の力を生かした地域学校協働活動を中心に紹介いたします。
(7) 地域学校協働活動推進員との連携
【地域学校協働活動推進員と地域連携教員の打ち合わせ】
月に1回程度、地域学校協働活動推進員が来校して打ち合わせを行っています。さらに推進員が、学校運営協議会の委員であることから学校運営協議会時にも打ち合わせを行っています。
【活動の連絡調整業務】
地域連携教員が人材バンクを基に年度当初にまとめて地域学校協働活動推進員へ連絡し、後日詳細のみ担当学年担任が打ち合わせる形にしています。現在の推進員は、元保護者で公民館とのつながりもあるので、各学年の連携活動への理解が深く、各学年担当との打ち合わせが効率的に行われています。

ザゼンソウ野生地発見

小学校【学校運営協議会を中心とする地域学校協働活動が推進された取組】
度には田中小学校と大沢小学校の交際の統合により開校し、本年度で10年目、那須小学校との統合によって学区域が広がり、地域の人的・物的資源を運営協議会を中心に学校と地域の連携・協働を推進し、特色ある教育活動を展開しています。
学校運営協議会の取組
地域やビジョンを共有するために、学校運営協議会において学校経営方針や目標、また、児童が学校運営協議会でも意思を直接伝える場を設けることにより、学校運営協議会の委員が使命をもって具体的な解決の手立てや取組について熱心な協働を推進しています。

(3) 子育てや家庭教育に悩みや不安をもつ保護者や、いじめなどの問題を抱えている子供が、いつでも相談できる体制を整える。
【担当：那須教育支援推進本部 2025—とちぎ教育ビジョン—組2】

家庭教育支援プログラム推進者研修 家庭教育コーディネーター研修 家庭教育支援プログラム



令和5年度那須地区教育の概要の「第2部 ふれあい学習」では、生涯学習・ふれあい学習の推進、その推進のための取組、各市町の特色ある取組等がまとめられています。
地域連携教員や社会教育主事有資格者の皆様には、教育の概要を参考に理解を深めていただくとともに、ふれあい学習の推進者としての御活躍を期待しております。

那須地区教育の概要の活用
「ふれあい学習」の推進
「ふれあい学習」の推進は、地域の力を生かした教育活動の推進と、地域学校協働活動の推進とを軸として推進していきます。地域学校協働活動の推進は、地域学校協働活動推進員との連携と、地域学校協働活動推進員との連携とを軸として推進していきます。地域学校協働活動の推進は、地域学校協働活動推進員との連携と、地域学校協働活動推進員との連携とを軸として推進していきます。地域学校協働活動の推進は、地域学校協働活動推進員との連携と、地域学校協働活動推進員との連携とを軸として推進していきます。



そば職人によるそば打ち指導